



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

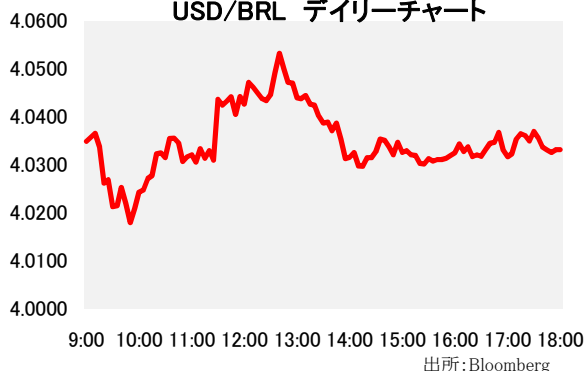
| | | | 1月12日 | 1月13日 | 1月14日 | 1月15日 | 1月18日 | Net Chg |
|-----|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 為替 | USD/BRL | Spot | 4.0270 | 4.0160 | 4.0000 | 4.0490 | 4.0330 | -0.0160 |
| | BRL/JPY | Spot | 29.21 | 29.32 | 29.53 | 28.91 | 29.07 | +0.16 |
| | EUR/USD | Spot | 1.0856 | 1.0877 | 1.0864 | 1.0911 | 1.0894 | -0.0017 |
| | USD/JPY | Spot | 117.60 | 117.78 | 118.14 | 117.04 | 117.34 | +0.30 |
| 金利 | Brazil DI | 6MTH(p.a.) | 15.106 | 15.099 | 15.084 | 15.146 | 15.133 | -0.013 |
| | Future | 1Year(p.a.) | 15.556 | 15.536 | 15.507 | 15.603 | 15.643 | +0.040 |
| | On-shore | 6MTH(p.a.) | 3.650 | 3.583 | 3.753 | 3.738 | 3.672 | -0.066 |
| | USD | 1Year(p.a.) | 4.296 | 4.232 | 4.387 | 4.425 | 4.381 | -0.044 |
| 株式 | Bovespa指数 | | 39,514 | 38,944 | 39,427 | 38,569 | 38,312 | -257 |
| CDS | CDS Brazil 5y | | 487.92 | 492.07 | 489.06 | 497.24 | 505.90 | +8.66 |
| 商品 | CRB指数 | | 162.075 | 162.391 | 163.122 | 159.935 | 休場 | -3.19 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

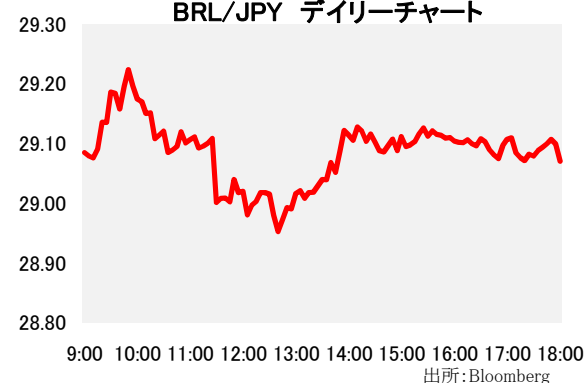
2. 主要経済指標

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |
|---------------|-------|--------|---------|
| FGV CPI IPC-S | 1.23% | 1.30% | 0.99% |
| CNI産業信頼感 | -- | 36.5 | 36.0 |
| 貿易収支(週次) | -- | \$621m | -\$150m |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

| | |
|-----------|---|
| バルボーザ伯財務相 | 小切手税は5月までに承認される予定。今年の初めに社会保障制度の見直しを目指す。 |
|-----------|---|

4. トピックス

- 本日のレアルは4.0460で寄り付いた。早朝に発表されたアナリスト予想集計が強かったことや原油価格の上昇を受けて、朝方はレアル買いが優勢となり、高値となる4.0170を示現した。しかし株式が寄り付き直後から軟調推移したことや、原油価格の反落を受けてレアルは反落。米国祝日で流動性が薄い中、伯中銀仲値公表にかけてドル買いが出た模様で、レアルは本日の安値となる4.0540まで売られた。仲値公表後は短期筋の買い戻しで4.02台まで反発し、その後は膠着相場となった。結局4.0330でクローズ。
- 伯仲銀が発表したアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-2.99%で据え置かれる一方、2017年は0.86%から1.00%に上方修正された。インフレ率予想は2016年が6.93%から7.00%へ3週連続で上方修正され、2017年も5.20%から5.40%へ上方修正された。政策金利予想は2016年末が15.25%で据え置かれ、2017年末は12.75%から12.88%に上方修正された。
- OPEC月報ではOPEC非加盟国の供給量予想が前回の日量で27万バレル減から66万バレル減に下方修正された。また、加盟国の供給見通しを日量70万バレルから60万バレルに下方修正した。月報ではイランの経済制裁解除への言及はなかったが、イランが制裁解除に伴い日量50万バレルを供給し、今後も増産すると言われており供給過剰懸念が根強い。WTI先物直近限月ものは一時29.84まで上昇したが、その後28ドル台まで反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。